

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月20日

事業所名 こぼんはうすさくら 松戸六高台教室 保護者等数(児童数) 28 回収数 12 割合 43%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|--|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 11 | 1 | 0 | | 教室を見ていないのでわかりません。 | 面談の際などに教室内のご案内もしていきたいと思います。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | 3 | 0 | | 先生が変わったりして、よくわかりません。職員の顔写真入りの自己紹介があるといいなと思います。(名前がわからないし、何名なのか専門性についてもよくわからない為。) | 今後、こぼん通信に取り入れていきたいと思います。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 9 | 2 | 1 | | 教室をみていないので。最近参観等でできていない為わからない。 | 面談の際などに教室内のご案内もしていきたいと思います。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 11 | 1 | 0 | | コロナでむずかしいかもですが、慌ててサインした感じなので、もう少し時間が欲しかったと思います。 | オンラインなども活用しながら説明をさせて頂くように努めてまいります。 |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 11 | 1 | 0 | | | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 5 | 5 | | 必要ないのでは？ コロナなので | コロナ感染に配慮しながら公園などや行事で他児との交流が持てるようにしています。 |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 11 | 1 | 0 | | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 11 | 1 | 0 | | | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 2 | 2 | | | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 4 | 6 | | 必要ないのでは？ | コロナ過やお仕事されているご家庭も多いので機会があれば今後、設けていきたいと思います。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 10 | 2 | 0 | | | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 11 | 0 | 1 | | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 11 | 1 | 0 | | | |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 11 | 1 | 0 | | | | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 9 | 1 | 2 | | | |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 10 | 2 | 0 | | | |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 10 | 2 | 0 | | 学校がお休みの時などは お迎えに来ていただくのをソワソワ待ち 帰宅時にはニコニコごきげんで帰宅し 車からは名残惜しそうに降りてきます(笑) | ありがとうございます。今後もお子さんが楽しんで行えるような療育を提供していきたいと思います。 |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 11 | 0 | 1 | | いつも大変お世話になっております。活発な息子なので先生方にはご迷惑をおかけしてばかりですが…今後共 よろしく願います。 | 楽しく通って頂けることが、私たちスタッフのやりがいに繋がっています。 |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月20日

事業所名 こばんはうすさくら 松戸六高台教室

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--|--|----|---------------|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 11 | 4 | 0 | 利用者が伸び伸び活動できるスペースの工夫をしている。 離散する児童の対策として施錠の徹底 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 7 | 5 | 2 | 児童2名に対して職員1名の配置を最低限心掛けている。 目の離せない児童に対してはマンツーマンで対応。 目が離せない児童に、担当もついています。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 9 | 5 | 1 | 比較的フラットな床面で、障害物の排除は心掛けている。 トイレは職員も付き添えるような充分な広さがある。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 7 | 5 | 3 | 一人ひとりに対する振り返りをしている。 申し送りの徹底や申し送りノートで情報共有。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | 8 | 0 | 許容範囲で、保護者の意見をとりいれている。 その他、送迎時等でも対応している。 把握できていないための回答です。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | 7 | 3 | 各々の反省点は、上長がリスニングし改善の糧にしている。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 8 | 2 | 研修、勉強会の実施。 |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 9 | 3 | 3 | 定期的に研修を行い、問題点の共有を図っている。ほしい 問題改善、職員の知識の向上等に努めている。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 11 | 4 | 0 | アセスメントを取り、問題点や児童の抱えている課題に対応できるようにしている。 管理者、児発管が実施。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 9 | 0 | 具体的にwisk検査を行った結果を提示して頂いた場合には、活用している。 1日の流れの説明、可視化。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | 4 | 3 | 机上のものや身体活動を目的にしたものごとを組み合わせ、どちらか一方でも参加できる工夫をしている。 曜日やメンバーによって変更等臨機応変に対応。 曜日ごとに来所する児童に合った活動プログラムを組み立てている |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 10 | 5 | 0 | イベントも毎月組入れ、そのイベントもどの児童にも平均的に行き渡るように日程の調節をしている。 定期的にプログラムの見直しを雑誌。 毎月新しい活動プログラムを組み込めるよう提案している |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | 9 | 1 | 固定曜日の児童の様子から、何ができるかを考慮しながら設定している。 休日、祝日等は外出、イベントを実施。 児童に合った課題を設定している |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 9 | 5 | 1 | 机上のプログラムと集団活動プログラムの組み合わせを心掛けた月間プログラムの作成をしている。 毎日、机上のプログラム、運動プログラムの2つを実施。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 5 | 2 | 朝礼でプログラムの確認をし、その日のリーダーの指示において活動計画を立てている。 役割分担、送迎、プログラム等、朝の朝礼にて確認。 把握できていないための回答です。 朝礼を行い、昨日の振り返りやその日の役割について確認している |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 4 | 6 | 問題点は管理者に報告。申し送りノートにて職員間の情報共有。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | 3 | 4 | 日報の記入を欠かさず行っている。 日報、申し送りノートを活用し全職員情報共有。 |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | 6 | 2 | 管理者、児発管が実施。 把握できていないための回答です。 | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 8 | 6 | 1 | 多彩な活動を心掛け、児童の経験値を高められるような試みをしている。 定期的に研修を実施。 | |
| 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | 8 | 0 | 担当者会議には、管理者及び児発管が主に出席しているが、状況に応じて現場の主任が担当する。 管理者、児発管が出席。 参加していないのわからない | |
| 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 10 | 5 | 0 | 万全を心掛けている。 学校便りの確認。学校の先生と下校時刻の確認。 保護者からの連絡、学校のプリントで毎月確認している | |
| 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 7 | 4 | 3 | 状況に応じて直接主治医に面会をさせてもらう場合もある。 病気に対する勉強会等実施。 把握できていないための回答です。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---------------------------|--|----|----|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 4 | 11 | 0 | 児発からの継続利用の児童に関してはそのように努めている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 3 | 12 | 0 | 相談支援員が付いている場合には、情報提供をしている。 管理者、児発管が実施。 把握できていないための回答です。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 8 | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 1 | 6 | 8 | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 1 | 8 | 6 | 管理者、児発管が参加。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 11 | 4 | 0 | ご利用日には、必ず報告をさせて頂いている。 送迎時等で保護者にお伝え。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 1 | 13 | 1 | 一部保護者様に限られているので、広く行き渡るよう改善していく。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 11 | 4 | 0 | 契約時、時間かけて説明している。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 11 | 4 | 0 | 電話及び対面で、随時担当職員が対応している。 送迎時や電話で対応。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 6 | 9 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 12 | 3 | 0 | 状況によっては、然るべき機関への報告もしている。 状況確認等、迅速に対応。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 12 | 3 | 0 | 毎月通信の発行をし、教室や児童の様子をお伝えしている。 月に1回発行。プログラム等紹介。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 12 | 1 | 2 | 写真や名前の掲載には十分注意をはらっている。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 10 | 4 | 1 | 本人に伝わる方法を模索しながら対応している。 可視化、サイン等 |
| 非常時等の対応 | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 5 | 9 | |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 11 | 3 | 1 | 教室独自マニュアルを作成している。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 12 | 2 | 1 | 半年に一度の実施を義務付けている。 年に2回、避難訓練を実施。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | 4 | 3 | 定期的に研修を行ったり、外部研修の受講を毎年行っている。 研修にて職員の意識向上、再確認。 言葉遣いが悪い。虐待と思われるような行為。改善は出来ないと思う。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 9 | 6 | 0 | 個別支援計画書に記載し、保護者に伝達している。 保護者の同意なしには身体拘束等行わない。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 11 | 3 | 0 | アレルギー一覧表を作成し、周知を図っている。 全職員に情報共有。 |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 13 | 1 | 1 | ヒヤリハットの記入の頻度を高めていく。 全職員で情報共有、反省会を実施。 | |